

令和6年度11月補正予算の概要

【補正規模】

(単位：百万円)

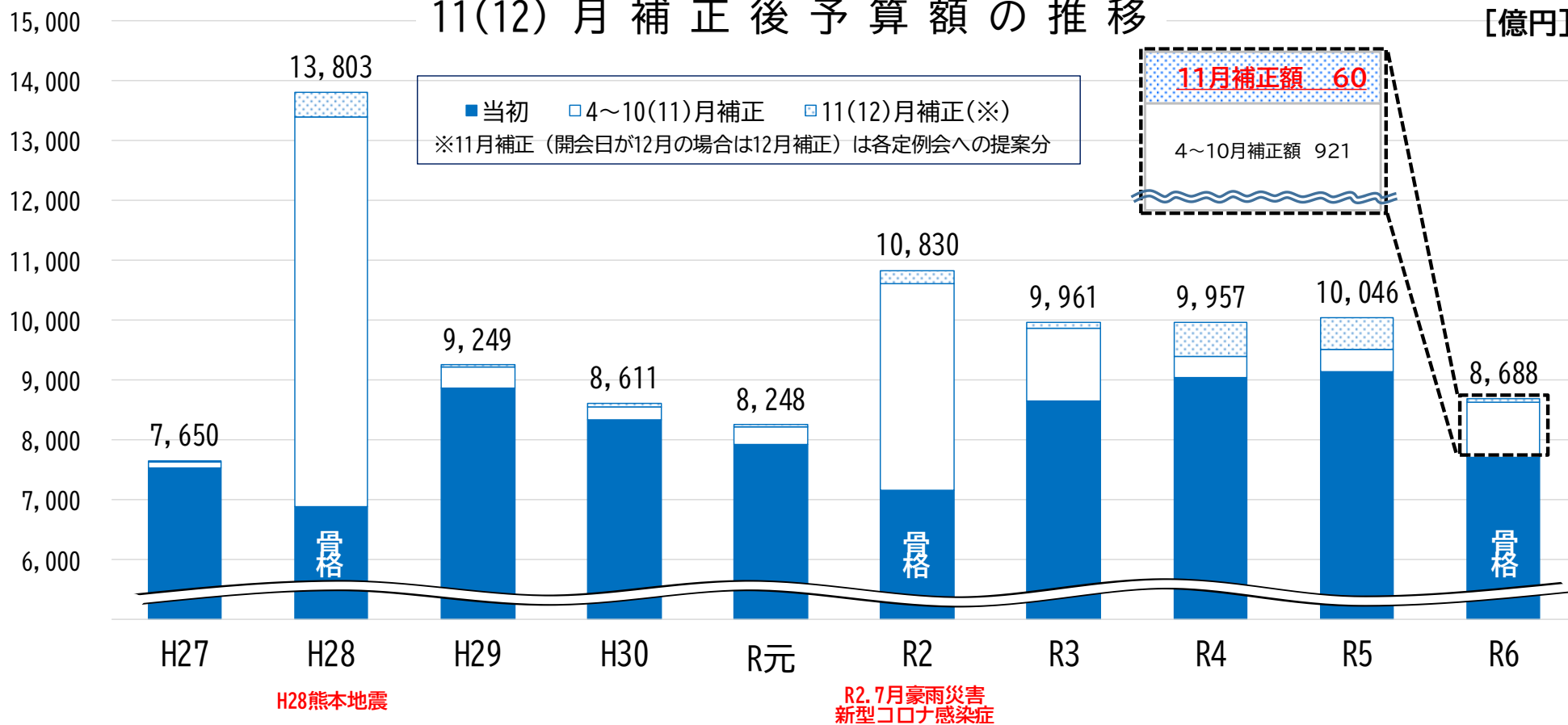
・ 現計予算額	862,813(①)
・ 今回補正予算額	6,017(②)
11月補正後予算額 (①+②)	868,830

(財源内訳) 国庫支出金2,542 諸収入51 県債2,080 繰入金1
繰越金1,342

※表示単位未満を四捨五入しているため、合計が合わないことがある

11(12)月補正後予算額の推移

[億円]



○ 災害復旧関連事業や知事マニフェストの実現に向けて取り組む事業のほか、当初予算編成後の状況変化に伴い対応が必要となった事業について、補正予算を計上

(主な内容) ★…個別資料あり

I 災害復旧関連事業46億57百万円(1億38百万円)

III その他13億36百万円(11億80百万円)

1 令和6年台風第10号等への対応★
26億67百万円(88百万円)

- 1 公費負担医療におけるDXの推進★51百万円(－)
- 2 旧優生保護法補償金等支給法成立に伴う対応5百万円(－)
旧優生保護法に基づき不妊手術等を受けられた被害者の方への新たな補償に関する周知・広報や相談支援等に要する経費
- 3 職員の時間外勤務手当の増額8億11百万円(8億11百万円)

II マニフェスト関連事業24百万円(24百万円)

- 1 国家戦略特区制度を活用した外国人材の受入れ促進★
1百万円(1百万円)
- 2 RE100電力供給・利用促進事業2百万円(2百万円)
再エネを集約し、企業に供給するために必要な地域エネルギー会社への出資に要する経費
- 3 観光誘客プロモーション推進事業4百万円(4百万円)
「熊本デスティネーションキャンペーン」実施に向けた事務局設置に要する経費
- 4 「食のみやこ熊本県」の創造5百万円(5百万円)
有識者会議の開催やビジョン策定等に要する経費
- 5 畜産営農継続に向けた取組み★12百万円(12百万円)

IV 債務負担行為の設定★

- 1 施設管理等関係分限度額137億56百万円
- 2 工事関係分(ゼロ県・ゼロ国等)限度額45億64百万円
- 3 その他限度額26億50百万円